

## 記事

[Mihoko Iijima](#) · 2021年8月16日 9m read

[Open Exchange](#)

# コンテナで InterSystems Reports を動かしてみる

InterSystems Reports は Logi Analytics 社の製品である Logi Report(旧名: JReport)を使用しています。InterSystems Reports は、InterSystems IRIS、InterSystems IRIS for Health で動作し、以下に示すように堅牢でモダンなポータルソリューションを提供します。

- レポート開発者とエンドユーザの両方がカスタマイズ可能な、組み込み型のオペショナルポータル。
- 請求書、文書、フォームなどの特殊なレイアウト要素や、特定のフォームグリッドを報告することができ、セルパーフェクトなフォーマット。
- 集約されたデータと詳細なデータの構造を提供する帯状のレイアウト。
- ヘッダ、フッタ、アグリゲーション、詳細データ、画像、サブレポートを正確に配置。
- 多彩なペーজレポートタイプ。
- PDF、XLS、HTML、XMLなどのファイルフォーマットへのエクスポート、印刷、法規制遵守のためのアーカイブを含む、大規模なダイナミックレポートのスケジューリング配布。

InterSystems Reports は、以下の内容で構成されています。:

- レポートデザイナーには「デザイン」タブと「プレビュー」タブがあり、レポート開発者はライブデータを使ってレポートの作成ビューができます。
- エンドユーザにブラウザベースのアクセスを提供し、レポートの実行、スケジューリング、フィードバック、監査を可能にするレポートサーバを用意します。

以上、[InterSystems ドキュメント](#) から抜粋

この記事では、InterSystems Reports のサーバ部分に焦点を当て、すべてのデータを永続しながらコンテナでレポートサーバを実行するためのガイドをご提供しています。

## 前提条件

InterSystems Reports を動かすために、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- [Docker](#) - InterSystems Reports は Docker がなくて動作しますが、この記事では Docker で動作する環境に焦点を当てています。
- (オプション) [git](#) - リポジトリを clone するためにインストールします。  
[アーカイブしてダウンロードできます](#)
- (オプション) [InterSystems Reports デザイナー](#) - 必要に応じて新しいレポート作成を使用します。

さらに必要なのは、

- [containers.intersystems.com](https://containers.intersystems.com) Docker registry へのログイン
- InterSystems Reports ライセンス(InterSystems 担当者までお問い合わせください)

## 構成

ここから本番です！

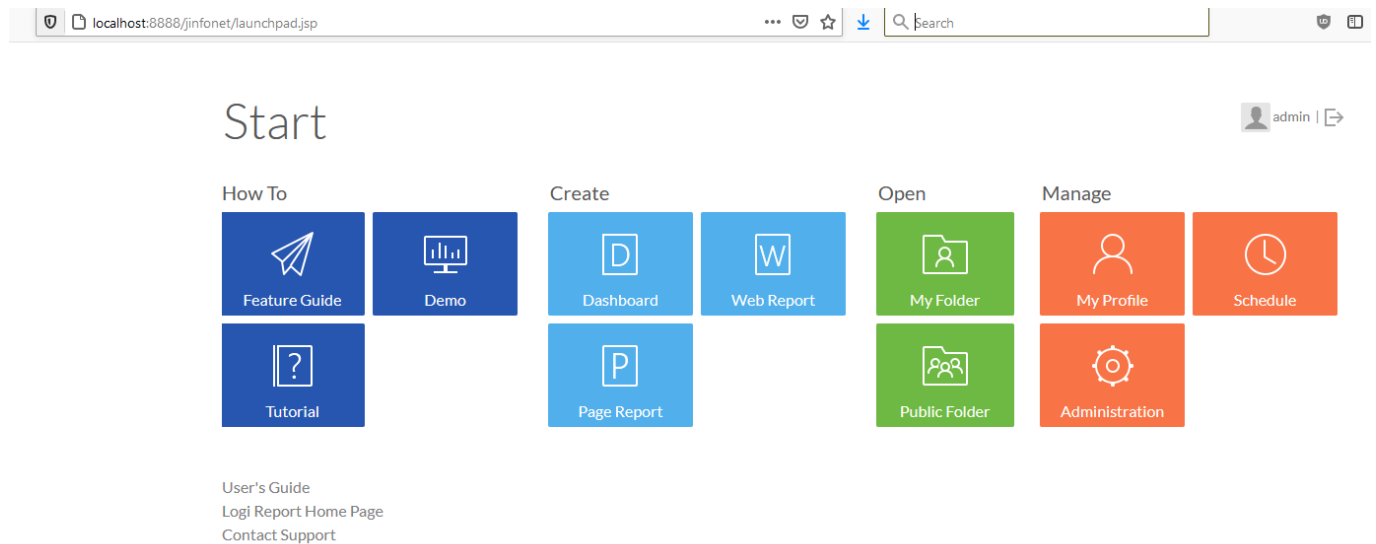
- 最初に、InterSystems Reports と IRIS をセットアップモードで起動し、IRIS を Reports のデータベース(データソースではありません!)として設定します。
- 続いて、Reports の設定を行い、この設定をホスト上で永続します。
- 最後に、永続されたデータを使用して、Reports を実行します。

## 最初の手順

では、さっさと試してみましよう。ここから 1-8 までの手順では、docker-compose の設定ファイルとして docker-compose\_setup.yml を使用していることに注意してください。

これらのステップの中で実行する docker-compose のコマンドは、すべて docker-compose -f docker-compose\_setup.yml として実行する必要があります。

1. リポジトリを clone します: `git clone https://github.com/eduard93/reports.git` または、[archive](#) としてダウンロードしてください。
2. `config.properties` を編集し、InterSystems Reports Server のライセンス情報(ユーザー)を指定します。これらをお持ちでない場合、インタシステムズ担当者までご連絡ください。他に多くのプロパティが [documentation](#) に記載されています。  
なお、この場合の IRIS は、レポート用のデータベースを指しており、レポート用のデータソース(後述します)ではありません。
3. InterSystems Reports Server を初期化して開始します: `docker-compose -f docker-compose_setup.yml up -d`
4. InterSystems Reports Server を開始するのを待ちます (`docker-compose -f docker-compose_setup.yml logs reports` で確認します)。5-10分かかることがあります。  
ログが表示されると、Reports Server は動作可能な状態になります: `reports_1 | Logi Report Server is ready for service`
5. [Reports Server](#) を開きます。(User/pass: admin/admin)。  
期限切れのウィンドウが表示される場合は、同じライセンス情報を再度入力してください。次のように表示されるはずですが。



## 設定の永続化


これで、Reports が実行されるので、構成し調整してホスト上に永続化する必要があります。  
(InterSystems IRIS の構成 [Durable %SYS](#) (永続的な %SYS) を使用して永続化されます。)

6. server console > Administration > Configuration > Advanced ページにある Enable Resources from Real Paths オプションをチェックします。

[ドキュメントはこちら](#)。

この設定で、レポートをリポジトリの reports フォルダにコピーするだけで、レポートを公開できるようになります。

Path: Administration &gt; Configuration &gt; Advanced

	<input type="checkbox"/> No Security Check
	<input type="checkbox"/> Enable "Publish to Versioning System" for Background Tasks View
	<input checked="" type="checkbox"/> Keep Connection Alive
	<input checked="" type="checkbox"/> Prompt Message When Server Task Queue Is Full
	<input checked="" type="checkbox"/> Prompt Message When Page Report Studio Action Queue Is Full
	<input checked="" type="checkbox"/> Enable Multiple Users to Login Using the Same User Name
	<input checked="" type="checkbox"/> Enable Resources from Real Paths
	<input type="checkbox"/> Enable Task Duration
	<input type="checkbox"/> Enable Linked Catalog
	<input type="checkbox"/> Role Based Authorization
Permission Setting UI Displays:	<input checked="" type="checkbox"/> User <input checked="" type="checkbox"/> Role <input checked="" type="checkbox"/> Group
	<input type="checkbox"/> Advanced Password
Permission Algorithm:	<input type="text" value="The Permission Accumulation Algorithm"/>
Show Resource Name Extension:	<input checked="" type="checkbox"/> Logi Report Server <input checked="" type="checkbox"/> Web Report Studio / Page Report Studio
User Session Timeout:	<input type="text" value="500"/> Hours <input type="text" value="0"/> Minutes <input type="text" value="0"/> Seconds
Time Before Moving to Background:	<input type="text" value="0"/> Hours <input type="text" value="2"/> Minutes <input type="text" value="50"/> Seconds
Status Refresh Interval:	<input type="text" value="0"/> Hours <input type="text" value="0"/> Minutes <input type="text" value="30"/> Seconds
Temporary Files Life:	<input type="text" value="24"/> Hours <input type="text" value="0"/> Minutes <input type="text" value="0"/> Seconds
Engine Priority:	<input type="text" value="Normal Priority"/>
Max Records in Parameter Value List:	<input type="text" value="5000"/> Items 

Save

7. 永続的なストレージファイルをホストへコピーします([docs](#)):

```
docker cp reports_reports_1:/opt/LogiReport/Server/bin .
docker cp reports_reports_1:/opt/LogiReport/Server/derby .
docker cp reports_reports_1:/opt/LogiReport/Server/font .
docker cp reports_reports_1:/opt/LogiReport/Server/history .
docker cp reports_reports_1:/opt/LogiReport/Server/style .
```

8. InterSystems Reports Server を停止します: `docker-compose -f docker-compose_setup.yml down`

## 2つ目の手順

ここまでの流れで永続的なデータストレージを使うレポートを始める準備ができました。

9.

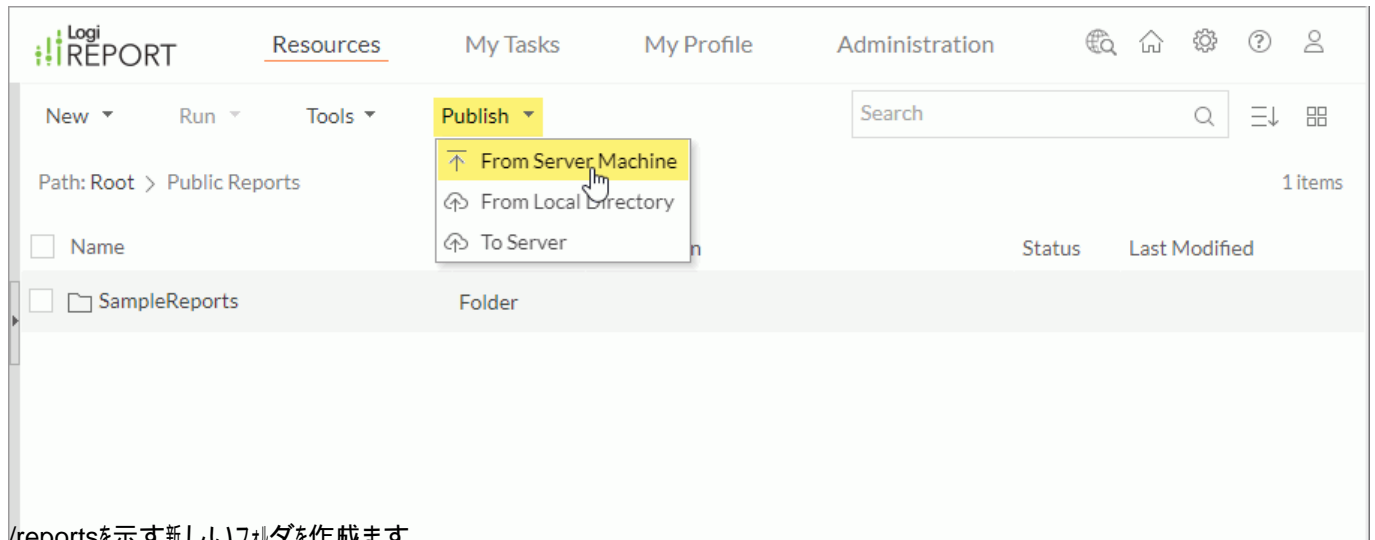
InterSystems Reports Server を初期処理せずに開始します: `docker-compose up -d`

10.

Public Reports 内に、実パスで新しいフォルダリソースを作成します: /reports

[ドキュメントはこちら](#)。

Public Reports をオープンするため、Publish > From Server Machineを選択します:



/reportsを示す新しいフォルダを作成します。

Path: Root > Public Reports

### Publish Resource To: /Public Reports

Resource Type:

From Folder:

Resource Node Name:

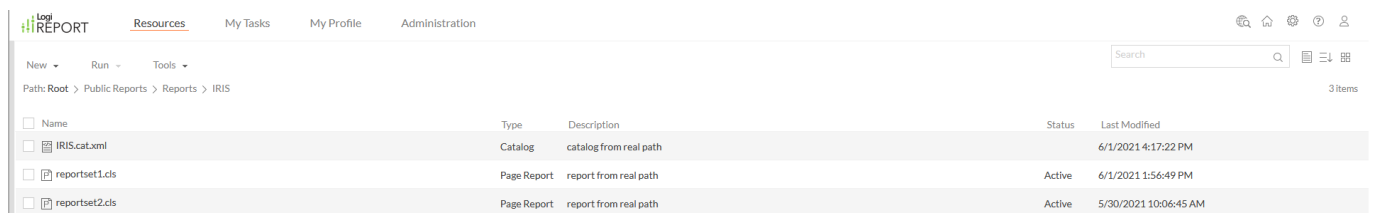
Resource Description:

Resource Real Path:

Enable Resources from Real Paths

Automatically Convert Old Report Schema

Apply Archive Policy



カタログ(IRIS への接続を定義するもの)と2つのレポート(reportset1/reportset2)が含まれているはずですが、

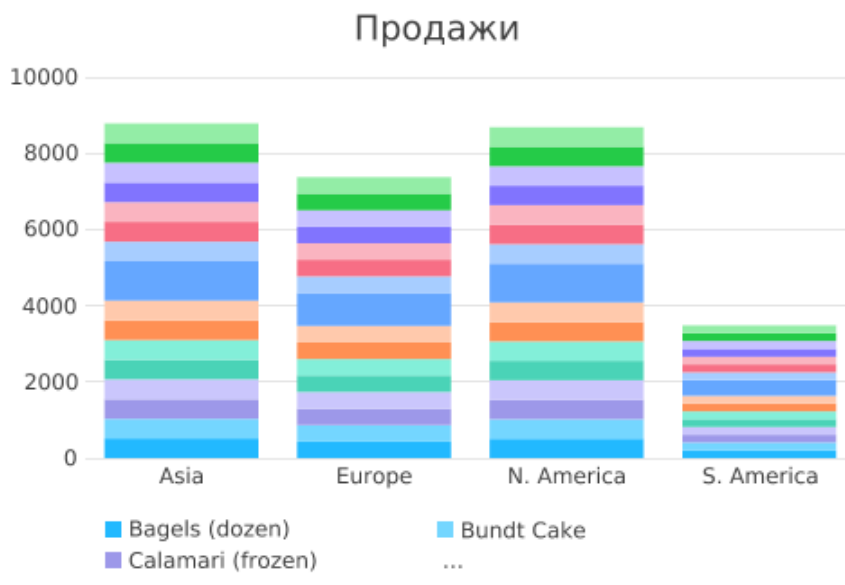
これらを実行してください(ブラウザで参照するには Run ボタンを使い、HTML、PDF、Excel、Text、RTF、XML、

PostScript 形式を選択するには Advanced Run ボタンを使います。  
 ここでは、レポートがどのように参照できるを説明します。

## HoleFoods Transactions by Date

Product	UnitsSold	AmountOfSale
Bagels (dozen)		
Bagels (dozen)	1	5.36
Bagels (dozen)	1	4.95
Bagels (dozen)	6	29.70
Bagels (dozen)	3	11.85
Bagels (dozen)	1	20.66
Bagels (dozen)	3	21.48
Bagels (dozen)	1	5.95
Bagels (dozen)	1	2.98
Bagels (dozen)	1	6.95
Bagels (dozen)	1	4.95
Bagels (dozen)	1	3.95
Bagels (dozen)	8	30.60

### Продажи по регионам



**Product\_Name** 🔍 🗑️ ✕

- Bagels (dozen) ▲
- Bundt Cake
- Calamari (frozen)
- Cheerios (box)
- Donuts (dozen)
- Free-range Donuts (dozen)
- Fruit Loops (box)
- Lifesavers (roll)
- Onion ring
- Penne (box) ▼

この例では、データソースとして同じ IRIS を使用していますが、一般的には、カタログで定義された他の IRIS インスタンスで構成しません。

このデモでは、HoleFoodsデータセットを使用しています(zpm "install samples-bi" でインストールしています)。

新しい接続を追加するには、Designerで新しいカタログを作成します。その後、新しいレポートを作成、reports フォルダ内の新しいサブフォルダにすべてをエクスポートします。もちろん、InterSystems Reports Server コンテナはどのデータソースIRISインスタンスにもネットワークアクセスできる必要があります。

これで終了です。

さて、Reports を停止したい場合は、次のように実行します。docker-compose stop Reports を再開するには、次のように実行します。docker-compose up -d

なお、すべてのレポートは引き続き利用可能です。

## デバッグ

全てのログは、/opt/LogiReport/Server/logsフォルダに格納されます。

エラーが発生した場合は、ボリュームに追加して Reports を再起動し、エラーを再現してください。

ドキュメントには [log levels](#) を調整する方法が記載されています。

レポートが正確に UI に見えない場合は、binフォルダにあるLogConfig.propertiesファイルを調整してください。

```
logger.Engine.level = TRIVIAL
logger.DHTML.level = TRIVIAL
logger.Designer.level = TRIVIAL
logger.Event.level = TRIVIAL
logger.Error.level = TRIVIAL
logger.Access.level = TRIVIAL
logger.Manage.level = TRIVIAL
logger.Debug.level = TRIVIAL
logger.Performance.level = TRIVIAL
logger.Dump.level = TRIVIAL
```

## 埋込とAPI

Webアプリケーションにレポートを埋め込むには [Embedded API](#) を使用します。

その他の [利用可能な API](#) は、ドキュメントをご参照ください。

## まとめ

InterSystems Reportsは、運用レポートを組み込んだ堅牢な最新のレポートソリューションを提供します。InterSystems Reports Server は、エンドユーザにブラウザベースのアクセスを提供し、レポートの実行、スケジューリング、フィルタリング、および変更を可能にします。

InterSystems Reports Server は、Docker 環境で効率的に実行することができます。

## 参考リンク

- [ここで説明したコンテナのリポジトリ](#)
- [InterSystems Reports のドキュメント](#)
- [ギンク](#)

[#Docker](#) [#システム管理](#) [#InterSystems IRIS](#)  
[InterSystems Open Exchange](#)で関連アプリケーションを確認してください

ソースURL: <https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%83%8A%E3%81%A7-intersystems-reports-%E3%82%92%E5%8B%95%E3%81%8B%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%BF%E3%82%8B>